

336A地区



2R-4Z

西条

SAIJO LIONS CLUB



2008年6月号

No. 375



年間例会100%出席達成 総勢18名

2007~2008 年度

国際会長プログラム

「変化への挑戦」(Challenge to Change)

336A 地区がバナーズ スロガン

「ライオンよ、熱き想い・強い絆でウィ・サーブ」

キーワード

「情熱・感動」

クラブ会長スローガン

「心を拓いて奉仕の輪」

キーワード

「チャレンジ」

1 年を振り返って

『 人の大切さを教えられた一年でした 』

会長 野田明利



節目の年、平成20年度クラブ47代会長として、スローガン「心を拓いて奉仕の輪」そして若い人たちの新しい発案と発想を期待して、キーワード「チャレンジ」として一年間、鋭意努力してまいりました。各委員会がお互い、ひとつになり委員会を中心に、継続事業、単年度の事業「アクティビティ」が提案され、奉仕活動が実施されました。新規の「アクティビティ」として救急救命士講習の受講、大和ミュージアム見学、YE生派遣、特筆事項として例会純出席100%が4度達成、クラブ始めて以来の会員増強6名です。その結果として例会出席優秀賞 金賞に始まり、過去最多の、6個のアワードがリジョンより表彰されました。これはすべて各会員の努力によるものであり、充実して責務を終えることができ心より感謝申し上げます。特に今年度においては、新会員が7名入会していただき、例会においては入会式が多くなり楽しく来たくなる例会を目指しましたが、入会式に時間をとらなくてはならない嫌いがありました。しかし例会はもとより各活動「アクティビティ」においては今までになくクラブ全体が、大変活発となり、クラブの息吹を感じ、会員増強に協力戴いた多くの人に感謝、そして人の大切さを身に染みて感じました。また今期は、寺田 ZC を輩出してゾーンの各クラブに対して、サポート委員会を中心に、合同例会に始まり有意義で円滑な奉仕活動が出来ました。本年度の執行部を会員各位が寛容と友愛の精神で、支えて戴いたこと、感謝の心でいっぱいです。ありがとうございました。来年度は寺川治美新会長のもと、より成果のあるウィサーブになるよう期待して御礼の言葉といたします。

『 2 リジョン年次会合報告 』

幹事 山本新一郎



去る、6月14日(土)15:30よりリーガロイヤルホテル新居浜で開かれました336-A地区2R年次会合に出席してまいりました。西条ライオンズクラブからは、現2R-4Z Cの寺田了三L、現地区監査委員の加藤茂L、次期会員・会則・EXT・指導力育成・プロトコール委員の瀬川大秀Lと現・次期クラブ役員、そしてわれらの事務局員 益田さんと合計10名で参加してまいりました。会合の中で、1年を振り返る中、4Z合同例会のことを始めとし、2R親善ゴルフ大会、第35回2R親善スポーツ大会、CSF II、西条ライオンズクラブへの例会訪問など いろいろ思い起こされました。今となっては、楽しい思い出となりました。又、自分としては今期1年多くの会に出席させて頂き、いろいろな方々と接し、学ばせて頂きました。この経験を生かすべく、これからも西条ライオンズクラブの一員として努めていきたいと思っております。皆様今年一年ありがとうございました。

『 今 思うこと 』

会計 内田 伸



西条ライオンズクラブ第47代クラブ会計を拝命されて、「光陰矢の如し」あっという間に1年間が過ぎ去りました。今期はクラブ運営費・事業費共、ややゆとりをもって次年度会計さんへ引き継ぐことができたと思われまます。しかしながら、最近のインフレぎみの経済状況を見ても、経費の削減は避けて通ることができないものと思っております。私自身、公私ともに忙しく、充分なことができなくて葛藤しておりましたが、会員の皆様のご理解と心あたたまる執行部・事務局の力によって、なんとか乗り切れたように思います。大変御世話になったこと、心より感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

2007-2008年度 4ZC任期満了を迎えて

2R-4ZCを拝命して早1年が過ぎ、先月23日に無事年次会合を開催する事が出来ましたのも、アシスタントの原さん、サポート委員会の花山さん、妻鳥さん、寺尾さん、益田さんをはじめ4ゾーン各クラブの会員さんのご協力で非力な私を支えていただいたお陰だと思います。心より感謝申し上げます、有難うございました。



4ZC 寺田了三

さて、年次会合の会議では4ゾーン全クラブがCSFⅡ100%達成と合同例会のお礼を申し上げ、会員増強が目標を達成出来なかったことは、現状を考えると、致しかたなしと報告し、楽しい懇親会開演と成り、美味しいお酒を頂き、大変幸せな1年の締めくくりとなりました。本当に1年間お世話になりました、楽しくやらせていただきました。感謝・感謝・・・！

ゴルフ部活動報告



会長取り切り戦に参加して

会長取り切り戦覇者 LL. 加藤加代子

最近はいつも、100を切ることを目標にして、コンペに参加しております。今回のコンペはその目標に一打及ばず、『54・46』でした。優勝は思ってもいなかったものです。

100を切れなかった悔しさが、わずかに残る嬉しさでした。

昨年の石鎚交通さんの記念コンペとともに、忘れられないコンペになることでしょう。

ゴルフクラブの一員にさせていただいて、感謝しております。ありがとうございます。

最後に、主人ならこんな一句を詠むのではないのでしょうか。

“ 万緑や 若づくりして ティショット ”

これからも宜しくお願い致します。



別子コースNo. 1にて



野田会長初ゴルフ～始球式～

会長取り切り戦 成績発表

優勝：加藤加代子さん

2位：白石 剛L

3位：日吉洋二L

6月度定例会 成績発表

優勝：白石 剛L

2位：宮崎英明L

3位：伊藤正己L

『 最終例会（6月第2例会）を終えて 』

テール・ツイスター 仁後真貴雄



6月17日、西条国際ホテルに於いて、最終例会が開催されました。山本幹事による最後の幹事報告も無事終了しました。懇親会に於いては、第一副会長の寺尾Lの乾杯で始まり今期いっぱいまで終身会員へ移行される吉峯Lが[千の風になって]の曲で見事な舞を披露されました。アトラクションでは「ジャズ・ビーンズ」が出演し、素敵な演奏を聞かせて頂き、いつも以上にアルコールも進みました。キーの伝達式では、野田会長から次期寺川会長へと手渡され続いて恒例の“クス球”を次期寺川会長が力強く割り、見事！中から次期会長スローガンがくると飛び出し、無事発表されました。長いようで短かったような1年間の終わりを感じながら次期執行部の方の1年の活躍をお祈り申し上げます。



第一副会長発声のもと懇親会開始



JAZZ BEANSライブ♪



吉峯Lへ花束贈呈



例会出席100%賞受賞メンバー



現会長より次期会長へキーの伝達



各委員長へ功労賞

クラブ会長アワード

■例会100%純出席賞（アイウエオ順）

- | | | |
|----------|----------------------|---------|
| L. 伊藤修一郎 | L. 加藤 茂 | L. 國田経仁 |
| L. 塩崎己年夫 | L. 塩出正照 | L. 曾我 健 |
| L. 高木和幸 | L. 寺尾信司 | L. 土居恵三 |
| L. 西原 功 | L. 花山志郎 | L. 原育雄 |
| L. 日吉洋二 | L. 松浦 裕 | L. 盛實正人 |
| L. 真鍋信彦 | ※L野田明利・L. 仁後真貴雄（執行部） | |

■ツイスター協力賞（順不同）

- L. 吉峯秀則 L. 木下日出男 L. 十亀興美

■地区役員功労賞

- L. 寺田了三

■MJF賞

- L. 塩崎己年夫

■ゴルフ部功労賞

- L. 日吉洋二

■スポーツ同好会功労賞

- L. 仁後真貴雄

■委員会功労賞

- 各委員会委員長

『 ライオン・テーマー としての1年間に思うこと 』

ライオン・テーマー 加藤弘道

思えばこの1年、何が？どうして？どうなるの？と知っているうちに、月2回の例会は着々と開かれ、ようやく「なるほどな！」と思い、私のありったけのエネルギーをライオン・テーマーという職に注ぎ込もうとしていた矢先、任期満了が来てしまいました。この想いは、来期委員会活動にぶつけたいと思います。1年間ありがとうございました。



初心忘るべからず

L. 吉峯秀則



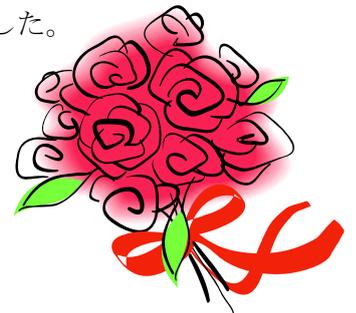
ASO（閉塞性大動脈硬化症）、厄介な病にみまわれたものです。

77歳で生まれて初めて入院、手術（外腸骨動脈ステント形成術）を受けることになりました。

そこでクラブの有志が集い、23日、野田会長の音頭で、壮行会を開いて頂きました。場所は、国際ホテル、かつて私が会長であった時、藤井弘初代会長の米寿をお祝いして差し上げた、懐かしい場所でした。“若さとは、心の若さである、丈夫なお体は、さながらドイツの名車、ベンツのようである。”と佐伯ライオンに驚嘆の言葉を述べさせたほどにお元気であったこと、その後数年間ゴルフ等もご一緒に楽しんで頂いたことなど思い出しながら、加藤、仁後、花山、各ライオンの進行で、会は楽しく進行。幼くして、医の道を志した頃の私の初心、“世のため、人のため、自分なりの個性を生かして、努力、精進を続けよう、このことを生きてゆくための縁にしよう。”と思い定めたこと、同じ思いから、30年前にライオンズクラブに入会し、以後今日まで、グッドスタンディング会員

役員を務め、運営と事業に協力してきて今日を迎え、数々の思い出だけでなく異業種の人たちとの交わりの中で、なにかと励まされ、教えられたことの多かったことを、この紙面をお借りして、心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



初心 “ 仕事を通じての社会奉仕 ” を忘れることなく、

“ 人はみな、これ わが 師 ”

“ 人のうえではなく、人の下でもなく みんな 一緒に 力を合わせて ” をモットーとして、吾が肉体の修復に専念し、ライオニズムへの復帰。

“ I Shall Return ! ”

来るべき50周年への一步を画した、素晴らしい会ができたと思います。

皆様方の励ましと、友情とに感動した、生涯最も幸せなひと時でした。





「いのちの尊さ」 をテーマに子供達の健全育成を願ってウィ・サーズ

西条ライオンズクラブ青少年指導委員会の本年度のテーマは、「いのちの尊さ」です。人心荒廃が進み、信じ難い凄惨な青少年による事件や、幼い子供達への虐待の悲劇の数々が毎日のように報じられる昨今の現状、更には世界のどこかでいつ果てることのないテロや戦争に犠牲を強いられる痛ましい子供達の姿に「いのちの尊さ」を知り、たのもしい子供達が育って欲しいとの願いをこめました。

そのために、クラブ一体となって数々の青少年育成活動を行ってまいりましたが、特にメインとなりましたのが、『 呉 大和ミュージアム社会見学 』です。去る4月27日、大和ミュージアム見学に親子で参加をいただき、バス3台で実施、戦争の悲惨さやむなしさ、命の尊さや平和の大切さを実感していただき、その体験を感想文に寄せていただきました。



【 行程表 】

2 0 0 8 年 4 月 2 7 日 (日)	西条市市役所前出発	= =	今治 I C	= =	しまなみ海道	= =	休憩(来島 S A) =	
	午前 7 : 0 0						8 : 3 0 - 8 : 5 0	
	= =	休憩(小谷 S A)	= = = = =			広島 (西条 I C)	= =	大和ミュージアム =
	10 : 0 5	10 : 2 5	(車中にてお弁当昼食)				12 : 0 5 - 13 : 4 0	
	お弁当の積み込み							
	=	てつのくじら館	= =	休憩(小谷 S A)	= =	しまなみ海道	= =	休憩(来島 S A) = =
	13 : 4 5 - 14 : 4 0	16 : 2 0	16 : 4 0			17 : 5 5 - 18 : 1 5		
	= =	今治 I C	= =	西条市市役所前到着	19 : 0 0	現地解散		

..... 社会見学に参加された子供たちの感想文より

大和ミュージアムには初めていきました。家族の旅行で山口県まで行った時に足をのばして大和ミュージアムにも行きたかったけど行けなくて高速代、橋の通行料金とか考えると本当に安価で行かせてもらい、ありがたいと思います。

数時間ミュージアム内で解説の方の話(詳しくわかりやすく面白く話して下さいました。)の後、もう一度ゆっくり展示したのを見て行きたかったけど事情があってできなかったのが残念でした。また機会があれば行きたいです。

大和が当時の日本の最高技術で作られたこと、現代も世界でその技術が参考になってるほどであること、沖縄まで行けと言われ、帰りの燃料もなく帰れないという状態で出発したことなどが印象に残りました。日本という小さな国が素晴らしい技術を持っていた。そしてアジアを支配して行き、それがおごりにもなっていたのでしょうか。たくさんの犠牲者が出ました。戦争の悲惨さ、不条理さはずっと忘れてはいけないと思いました。大和は偉大で、とてもカッコいいなと思います。と同時に悲しい象徴のような気がします。大和ミュージアムはずっと廃れることなくあって欲しいと思います。

・・・・・・ 社会見学に参加された子供たちの感想文より ・・・・・・・

今日は、大和ミュージアム見学ということで、広島県の呉に行きました。大和ミュージアムに行つて最初に1階の「大和ひろば」に行きました。全長約26メートルもある10分の1の大きさの戦艦『大和』を見ました。10分の1の大きさなのにとっても大きく、迫力がありました。次に、ボランティアで館内を説明してくれている人に説明をしてもらいながら、館内を回って行きました。そこで、特攻隊の事や、人間魚雷の事などという、とても悲惨な事があったということを知りました。最後に、自由時間がありました。そこで「てつのかじら館」に行きました。「てつのかじら館」では、実際に戦艦の模型にのりました。実際に乗れて良かったです。

今日の、大和ミュージアム見学でいのちの尊さを改めて感じる事ができました。

・・・・・・ 社会見学に参加された子供たちの感想文より ・・・・・・・

何年か前の夏休みに、大和ミュージアムに行きました。ツアーだったので時間があまりなくて、見学が少ししかできなくて楽しくなかったけど今回は、父と行ってゆっくりできました。ボランティアの人が説明してくれて、大和のことや船に乗った人のこともよく分かりました。

くじら館は初めてなので行く前から楽しみにしていました。本物の潜水艦の中に入って見学することができました。戦争のこわさや、平和の大切さが少し分かりました。楽しい1日でした。

・・・・・・ 社会見学に参加された子供たちの感想文より ・・・・・・・

「でかい」それが僕の和を見ての感想でした。広い甲板に長い大砲、大砲の実物大の展示を見てとても驚きました。大和ミュージアムの1階にある10分の1の大和は、とても大きな印象が残りました。それに本物の戦闘機や潜航艇、他にも呉の歴史を知り、とてもいい勉強になりました。

3階で船をつくる技術では、船を作る上での仕組みや船の構造を学び、船をつくるすごさや苦勞が良くわかりました。大和もこのようにして作られたんだと、改めて大和のすごさに気付きました。

最後にミュージアムショップでお土産をいっぱい買いました。とても楽しかったです。

次に行ったのは、海上自衛隊呉資料館です。ここでは、海上自衛隊の資料や展示を見ることができました。大和の中の構造や昔の爆弾に、とても大きな機関銃、僕もこの機関銃に乗ってみたいと思いました。そしてなかでも一番すごかったのは実物の潜水艦でした。実物ということだけあって、近くでみたら大迫力でした。また、中まで見学できてとても最高でした。中に入ってみると、とても狭く、高さも低かったです。スイッチやレバーなんかは至る所にあり、とてもややこしかったです。

そして一番奥の操縦席は意外にもハンドルなんかは飛行機の操縦席にそっくりでちょっとびっくりしました。潜水艦の中を出たらアンケートがあり、それに答えたら、なんと海上自衛隊のピンバッジをもらい、ちょっといい思い出になりました。

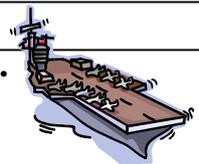
この大和ミュージアムと海上自衛隊呉資料館の2つに行って、呉や船の歴史、海上自衛隊の事や大和、いろいろなことが学べてとても良かったです。このツアーで海上自衛隊に入りたいな一と思いました。またこんなツアーがあるなら行きたいです。

・・・・・・ 社会見学に参加された子供たちの感想文より ・・・・・・・

戦争について考えた事はたくさんありました。

まず1つ目はたくさんの人の命が一瞬のうちに奪ってしまうという事です。なんで日本は勝ち目のないアメリカと戦ったのかというのが不思議でたまらないです。そのために関係の無い一般人まで食料などを奪われてしまうのか分かりません。

2つ目は戦艦大和についてです。その時は世界最強といわれていたのに負けてしまったというのが不思議でした。この戦艦の大和のせいで3000人の命がいきなり殺されてしまったというのが悔しくてたまりません。このように戦争ではたくさんの命が一瞬のうちになくなってしまうという悲しい現実だと思いました。今でも他の国々では戦争が続く大変だと思います。なので世界の平和というのは戻ってくるのだろうか自分はとても考えました。



・・・・・・ 社会見学に参加された子供たちの感想文より

僕は今回、ライオンズクラブ様と呉の大和ミュージアムに連れて行っていただき誠にありがとうございました。そこで見学をしていて思ったことは、戦争はとてもむなしく、悲しいことで僕たちの故郷 愛媛からも戦争に行き死んでいった人がいるなんてとてもつらいことだな、と思いました。それに、戦争なんかしたって悲しさ、苦しさ、むなしさ等が残るだけなので、もう二度と起きないようにして欲しいと思いました。それと今後は戦争などせず、話し合いで解決して欲しいなと思いました。

あと一つ思ったことは、戦争の恐ろしさを知らない人などに少しでも戦争の大変さを伝えられるように努力していきたいと思います。今回は、社会見学に連れて行ってもらって本当にありがとうございました。



・・・・・・ 社会見学に参加された子供たちの感想文より

「大和ミュージアム行く？」と母に聞かれたのは3月だった。その時僕は、大和・・・・・・って戦争の時に使われて沈んじゃった船・・・・ただそう思ってた。戦争のことも、ちょっとテレビで観るくらいでよく知らなかった。でも、何かためになることがある・・・・かも？と思って行くことにした。

当日、僕はバスの中はつまらないんだろうなあと思いゲームを持って行くことにした。バスに乗り、僕は早速ゲームを始めた。すると、ライオンズクラブの人たちが話しをしてくれていた。戦争の話のようだ。僕は、ゲームを閉じ、その話を聞いた。びっくりして、今の僕たちじゃ信じられないような話もあった。「お国のためなら死んでもいい」なんて意味不明だった。大和ミュージアムに着いた。そこらを見回すと、海軍の人もある。ガイドさんに導かれて中に入って行った。イスに座らされ、その人の話を聞いた。大和の話、ぼくの知らなかった話だ。まず僕ら子供は、大和の模型があるという所に移動させられた。通路では、いろいろな大和の絵があった。どれも印象深く、重圧感にあふれた絵ばかりだった。「これが大和かあ、かっこいいなあ」初めてそう思った。移動してきた僕らを待ち受けていたのは、模型に見えないくらいでかい大和だった。僕はそれを見た瞬間、息をのんだ。このままの大きさでも十分、戦いにいけるんじゃないの、と思った。さっきの絵と同じような格好だが、スケールが違う、全く違う。これが大和・・・・何か感動してしまった。他にもいろいろな話を聞いて、また感動した。別の場所に移った。ここは戦争、及び、大和の資料がたくさんあった。とても興味深い。ゼロ戦もあった。すごいなと思ったが、琵琶湖に落ちた本物ということで、またすごいと思った。奥に進んでいけば行くほど、大和のすごさ、素晴らしさ、戦争の恐ろしさが良く分かった。帰りの道中では、『男たちの大和』という大和に関する映画を観せてもらった。これもまた印象深かった。クライマックスでは、大和の船上で人たちが撃たれていくのを観て「もういいよ・・・・」というほど悲惨だった。今回、戦争のことがよく分かって、本当に参加して良かったと思う。今思えば、僕らは戦争で生き残った人たちの子孫なんだと、やっと気付いた。またこのような企画があったら参加したいと思う。

・・・・・・ 社会見学に参加された子供たちの感想文より

僕が大和の事で思ったのは3つあります。1つ目は、大和に最新技術が備わっていたことです。エレベーターなど、昔にはなかった物が大和にはあったそうなので、びっくりしました。2つ目は、人間魚雷の事です。自分たちが犠牲になって、相手の船につっこむということは、すごく残酷だと思います。また、昔ではそれは当たり前だったことも信じられませんでした。今では考えられません。人間魚雷をさせられた兵士たちの中でも、本当に人間魚雷をさせられて嬉しいと思った人はいないと思います。みんな、それぞれ悲しみがすごくあったと思います。たとえば僕が、戦争時代の時の人で、人間魚雷をしなければいけなくても、絶対にできないと思いました。人間魚雷をさせられて亡くなった人たちは、まだ生きれたのかもしれないのに、命をおとす事になってしまったので、本当にすごくかわいそうだなと思いました。3つ目は、大和が沈没したことです。すごく大きくて頑丈な大和が爆弾を落とされ、沈んでいったのも、すごく悲しい事です。およそ3000人の中で助かったのは、少ない人数だったそうなので、大和は最新技術は備わっていても、悲劇の船だと思いました。この見学で、戦争は本当にいけないという事が、改めて分かりました。

～ 参加保護者様からのアンケート回答書より抜粋 ～

今回、中1になった長男との参加でした。これから、部活・学校・塾にと関わりが少なくなってくると思い、思い出づくりに参加しました。大和ミュージアムは以前から“行きたい”と思っており、今回募集を見て即、申し込みしました。戦艦大和は“男たちの大和”の映画で見て大変興味を持ち、息子も私も参加した事で、【たくさんの新しい事】を発見・知る事ができました。大和を作るためにたくさんの人々が関わった事、現在もその技術が応用されている事、完成後も沢山の軍人達、その家族の事、ヤマトに関わった1人1人のドラマが、ミュージアムには残され、ものすごく感動しました。道中での戦争体験者のお話、クイズなど、あきる事無く楽しく勉強になる様、盛り立ててご配慮していただいたお陰で息子との楽しい思い出ができました。本当に有難うございました。またこのような研修があれば是非参加したいです。

～ 参加保護者様からのアンケート回答書より抜粋 ～

安い金額で参加できるという事でそんなに期待はなかったのですが、とても充実した内容だったと思いました。バスの中でも戦争体験者の方の話（そのままを話すことが逆にリアルで）、バスガイドさんの話も面白かったり、知らなかったことを教えられたりして、ライオンズクラブの方の熱意は素晴らしいなと思いました。大和ミュージアムもずっとずっとすたれることなく続いていったら良いと思います。戦争のさまざまなつらいところを改めて考えました。もっとゆっくり見たかったけどできなかったのが心残りです。

～ 参加保護者様からのアンケート回答書より抜粋 ～

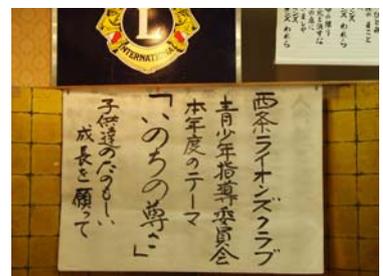
普段、父親とじっくり話をする事がなかったので今回、親子で参加し、見学をしたり、バスの中で色々な話をすることでコミュニケーションがはかれたようです。

～ 参加保護者様からのアンケート回答書より抜粋 ～

今ちょうど6年生の息子が歴史を習っています。よい勉強になったようです。主人も大和に興味があったようでこれを機に「大和のプラモデルを作るぞ」と言っておりました。楽しい思い出になりました。

【これからの子供達のために】

今、私達大人はこれからの子供達の健全な、しかもたのもし子供達を育成し、世に送り出すために、如何なることを実践し、推進すべきか、先人達の尊い生きた知恵、人生観や歴史に学び、子供達に伝えていかなければと思考いたしました。



【衣食住・自然の恩恵に感謝の心を】

第一に私達は、大自然の尊いはたらきによって生活の三原則、衣食住が成り立ち特に生きることは食べること、食育の大切さの原点に帰り、大自然の恩恵によって生かされていることに感謝し、「もったいないの心」、「いただきます」、「ごちそうさま」の合掌の心を持ち、自然を大切にすることを伝えることにあります。



【人格形成は知育・徳育・体育が基】

第二に人間教育の根幹は、知育・徳育・体育にあります。特に、徳育が人格形成の基ですが、戦後60有余年、学校教育に教えこられなかったために、人心荒廃の元凶になったことは否めません。知育は「読み・書き・そろばん」の基礎教育、徳育は倫理・道徳教育にあり、秩序の大切さ、感謝・尊敬・信頼・謙虚さや思いやり、いたわりの心、公に尽くす心等にあり、体育は健康な身体づくりであり、健康な身体に健康な精神が宿る由縁であります。

【この世の使命はいのちを伝える家族の絆】

第三に共同体の基は、家庭にあり、家族の絆を大切にすることにあります。この世に生をうけた全ての生物の使命は先祖から伝えられた、いのちを正しく子孫に伝えることにあります。伝えなければいのちが滅びることになります。

いのちの誕生は陰と陽の結びによりこの世に生をうけます。特に母なるものの大切さであります。男には残念ながら子供を産み母乳にて育てることはできません。神様がそのようにつくられたのであります。お母さんが命がけで子供を産み、心臓の鼓動を聞きながら安心感をもってお乳を飲むところに、「三つ子の魂、百まで」の健やかな心が宿り育つのです。お母さんは子供を守り、お父さんはお母さんを守り、家族をいのちがけで守る使命があります。子育ての教訓に次の言葉があります。

【 乳児は肌を離さず、幼児は手を離さず、少年は目を離さず、青年は心を離さず 】です。



そして結婚することによって真の独立となるということです。更に申し上げれば、三世代（祖父母・父母・子孫）が一緒に生活することによって、自然に生きる知恵、正しいいのちが伝わり子孫繁栄の道が開かれるのです。そして先祖があればこそ私達が存在し、やがて私達も先祖の仲間に入り、子孫の幸せを見守らねばならぬことに思いをいたし、家族そろって先祖参りをして感謝の祈りを捧げましょう。

(文責：L. 十亀興美)

■ あとがき ■

私達、西条ライオンズクラブは『なにが大事21世紀 あなたは?』を基本にこの度「生きるということ・平和ということ」をテーマに親子社会見学を計画してみました所、多数の参加をいただきありがとうございました。皆様と一緒にさせていただいた中で、現在においての価値観が私たちの子供時代に比べ、随分変わったんだということが勉強になりました。しかしいつの時にも変わらぬ「人を思う心」

「感謝の心」があれば、「幸せになる」との確信を得ました。また次の機会をぜひ計画したいものです。語り部の石水公親、藤川秋雄様には大変お世話になりました。

尚、子供たちの感想文と保護者アンケートについては、たくさんいただいた中から一部を抜粋させていただきました。ありがとうございました。



青少年指導委員会委員長 花山志郎



呉 大和ミュージアム親子社会見学 ~ PHOTO ALBUM ~

当日、貴重な体験を話して下さった語り部のお二人
~ 御世話になりました。ありがとうございました。~



石水公親さん



藤川秋雄さん



大和ミュージアム館内



くるしまSAにて参加者全員で記念撮影



午前6時30分より受付開始



学芸員の方より館内の説明を受けました



ボランティアの方に説明を受け、平和について勉強しました



1年を振り返る

■ 会員委員会委員長 西原 功

会員委員会の最大のアクティビティである【会員増強】は、今期皆様により推薦を頂き、予想以上の純増6名の新会員を獲得致しました。誠に喜ばしいことであります。

会員が増すことは、すべてにおいて活性化につながり、西条LCの発展の基礎となります。来期もさらなる「会員増強」を行って頂きたいと思っております。私事ではあります今年1年、価値あるライオンズ生活を有意義に過ごさせて頂きありがとうございました。



■ 環境保全・保健福祉委員会委員長 土居恵三

委員会アクティビティとしては、下記の4件を行いました。

1) 清掃奉仕 期日：2007年10月2日（火）※10月第一早朝例会

場所：アクアトピア水系（新町川）遊歩道
※例年は西条駅から産業道路までの両歩道を清掃していましたが、今年は新町川のアクアトピア水系遊歩道の清掃と致しました。川の中のゴミも拾えるように虫取り網も購入しましたので今後も継続して欲しいと思っております。



2) 市民救急救命士養成講習会

期日：2007年11月21日（水）午前9時～12時
期日：2007年11月25日（日）午前9時～12時
場所：西条東消防署 受講者：合計36名
※今年初めての試みとして、人工呼吸・AED・心肺蘇生の3つの講習を受講し、市民救急救命士の免許を取得しました。今後、AEDの普及並びに市民救急救命士の増員が必要だと思っております。



3) 餅つき奉仕



期日：2007年12月8日（土）

場所：ゆるぎ荘・星の里

※星の里・ゆるぎ荘共に、大変喜んでいただけました。両施設とも、年間行事として数ヶ月前から準備されておりました。今後とも継続してほしいと思っております。

4) 献血（1回実施）

期日：2008年4月15日（火）※4月第2例会

場所：西条市総合福祉センター 午前10時～午後4時

採血者213名の方に来場いただき、149名の方に400mlの採血していただきました。採血車を2台手配しましたので、昼休みも休憩なしで採血できました。献血センター長から、沢山の献血にとっても感謝していただきました。これからも継続した献血推進が必要と思っております。



以上、1年間有難うございました。委員会メンバー並びにクラブメンバーの皆様のご協力に感謝申し上げます。

■ 出席・計画委員会委員長 安藤憲正

最強メンバーに恵まれました。この顔ぶれでサンタクロースに変装したなんてちょっと笑っちゃいますヨネ……。楽しかった冬の家族例会、本当にご苦労様でした。また、出席率を向上して下さった全メンバーに感謝いたします。

例会純出席100% 4度達成!



■ 青少年指導委員会委員長 花山志郎

- 1) 第20回国際平和ポスターコンテスト実施
参加対象・・・西条市立神拝小学校5・6年生児童 応募46点
- 2) 鹿児島 知覧1泊2日親子社会見学を計画
2007年10月6日/7日の予定でしたが当初の予想を下回る応募数となり、中止になりました。
参加費 親子で25,000円と、日程に無理があったようです。
- 3) 第4回西条ライオンズ杯争奪西条クラブ招待軟式野球大会・カレー作り
実施日：2008年11月7日(土) 600食分のカレーを作りました。
- 4) 呉 大和ミュージアム・てつのかじら館 親子社会見学 を実施
日 時：2008年4月27日(日)
参加人数：大人65名 / 子供60名 合計125名
楽しみながら、「平和・命の大切さ」を認識し、「親子の絆」も深めていただいたとメンバー一同実感し、有意義な社会見学でありました。
- 5) 今回は【ライオンズクエスト】に参加できませんでしたが、次年度はぜひ参加してみたいかでしょうか。
- 6) 次年度もぜひ『命の尊さ』をテーマに活動して下さい!
- 7) ふれあい市民講座も考えてみてはどうでしょうか。



この委員会での活動は、私にとっても大変勉強になった1年でした。また、共に過ごした委員会メンバーと、かけがえのない強く・深い絆で結ばれた事が何よりの宝物となりました。1年間、ありがとうございました。ご協力に感謝・感謝!

■ YE・国際協調委員会委員長 伊藤修一郎

『 YE待望の派遣事業の決定 』

委員長を拝命したのが、前日のように思われ、1年が早くも終わろうとしております。過ぎ去ってみれば、1年は大変早いものだと感じております。本年度は、YE本来の事業である、派遣生を募集し、加藤弘道Lの子女2名が応募いただき、恒例の難関、キャビネットの選考会において両人とも選ばれるという奇跡のダブル派遣を叶えました。クラブとして、何年振りでしょうか?本当に素晴らしいことと思います。次年度、寺川治美会長のもとで、引き続いて事業を継続できることを心より嬉しく、承認していただいたクラブ会員に感謝いたしております。また前年度より慣例として引き続いた、当委員会の単年度事業であった「チャリティーバザー/産業文化フェスティバル」に於いては執行部主導の下、クラブ全員の協力と参加で、素晴らしい成果(労力・金銭アクティビティ)を上げることができ、全員の尽力に感謝いたします。最後に大過なく任期を全うできました事、会員に心よりお礼を申し上げ委員会事業報告と致します。





L. 原 育雄

一週間延期したけど天候は・・・。久しぶりに参加した雨男のM鳥さんのせいでは・・・?と疑いを抱いたのは私だけではないだろう。

フィッシング班の先発隊村上丸は、5月31日AM6:00予定通りに4名の釣り好きを乗せ降りしきる雨の中、西条港を出港した。途端に雨脚は激しくなりAM7:00出港予定の伊藤正己丸は泣く泣く出港を断念、バーベキュー班と合流し河原津にて食料を調達し桜井海浜ふれあい広場へと向かった。バーベキュー会場に着く頃には天気も回復し暑いくらいであった。ここでの働き頭は、



“板前”の正己と、“焼き”の妻鳥であった。一方ぜんぜん働かず、着いた途端ビールを催促したのはT田ZCであった。焼肉“大将”の最高級の肉と、河原津港で仕入れた新鮮な魚介類を食していた所に村上丸が大漁旗をなびかせ(釣果はキス18匹他)会場の砂浜に寄港しバーベキュー大会に参加し大いに盛り上がった。

部員12名・LL4名・子供7名の総勢23名の参加者は、おいしい料理と石鎚酒造のうまい酒を堪能し、子供達の一足早い海遊びを見ながら時間の過ぎるのも忘れて楽しむことが出来た一日でした。

PS:今回差し入れを頂きました、野田会長・山本幹事・越智L・花山L・宮崎L・福島L・寺尾L・盛實L有難うございました。また次回もよろしくお願い致します。



【編集後記】

ライオンズクラブに入会して早四年。とうとう主要な委員長という大役を仰せつかりましたが、委員会のベテランの皆様のおかげで無事、役目を果たすことができました。委員会のメンバーの皆様、本当にありがとうございました。また、本年度は例年通りアクティビティー等の記事の他に会員の企業紹介を載せさせていただきました。原稿依頼を快く引き受けていただいたクラブのメンバーの皆様方にも厚く御礼申し上げます。来年度も楽しい会報誌になるようお祈りしております。

PR・広報委員会委員長 野間賢次郎

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ
事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館 3F
TEL (0897) 56-3980
FAX (0897) 56-9251
E-mail saijo-1c@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 野田明利
幹事 山本新一郎
PR・広報委員長 野間賢次郎
編集委員 原 育雄 ・ 加藤誠也
村上公明 ・ 徳増達史
近藤基弘 ・ 福島 譲
例会日 第1・第3火曜日
例会場 黒猫レストラン
印刷 西条ライオンズクラブ事務局